

「むし歯になりにくい子」の育て方ガイド

# 赤ちゃんの むし歯対策

生まれたての赤ちゃんの口の中には、むし歯菌は存在しません。それなのにいつのまにか、口の中にむし歯菌が棲みついてしまうのは？最近になってその原因が明らかになってきました。

ポイントはズバリ！「口うつし」です。



## むし歯菌の感染を遅らせよう！

むし歯菌は親子感染するといわれています。  
感染しやすい赤ちゃんの時期に予防することが大切です。

画像：日本歯科情報センター

### むし歯菌に感染しやすい1歳半から 2歳半はとくにしっかり対策

この時期にしっかりと感染の対策をし、むし歯菌への感染をできるだけ遅らせることで、その後のむし歯へのなりやすさや、むし歯になる度合いが変わってきます。



### むし歯菌の感染を遅らせることがなぜ重要な？



お口の中の細菌の数には限界があります。むし歯菌が入り込むスペースがなくなる時期までに感染しなければ、その後の感染する余地がなくなり、リスクが低くなるというわけです。また、歯が硬くなるほどむし歯にはなりにくくなるのも理由のひとつです。

赤ちゃんに対する注意点よりも、ご両親がしっかりと虫歯や歯周病の治療を行っていることが最重要です。